



平成27年4月22日

各 位

会 社 名 アストマックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 本多 弘明
(JASDAQ スタンダード・コード 7162)
問合せ先 常務取締役 小幡 健太郎
電 話 03-5447-8400

当社グループにおけるアセット・マネジメント事業に関するお知らせ

当社は、昨春に公表いたしました『中期経営計画2014』の重点施策の一つとして、アセット・マネジメント事業における「再生可能エネルギー」を対象とするファンドへの取組を掲げておりますが、この度、当社の連結子会社であるアストマックス投信投資顧問株式会社が、信託受益権化した太陽光発電事業を投資対象とするファンドを立ち上げ、企業年金から運用を初受託しましたので、お知らせ致します。

記

1. 初受託した運用の概要について

企業年金から受託した運用で購入するファンドが信託受益権を通じて投資する事業は、中国地方に位置する1.6メガワットの太陽光発電案件で、国内製パネルを使用、電力の売却収入を20年間にわたり、投資家に提供するものです。想定利回りは5%程度（運用報酬控除後）が期待されており、現在の低金利の投資環境下にあつて、国内債券を初めとする有価証券投資とは異なるリスク・リターン特性を有する投資対象として、分散投資の一環として採用されました。

事業投資リスクを軽減するため、工事施工および完工後のメンテナンスは実績のある大手企業を採用し、損害保険のみならず収益補償保険も付保しています。また、ファイナンス・ストラクチャーをアストマックス投信投資顧問株式会社が管理・運営すると同時に、太陽光発電事業への自己投資を行っているアストマックス・トレーディング株式会社が実務的なアドバイスを行う体制となっています。

アストマックス投信投資顧問株式会社は、太陽光発電事業に限らず、有価証券投資とは異なる特性を持つ投資対象の発掘・開発を今後とも強化していく方針です。

2. 今後の見通し

本事業における当社グループの業績に与える影響は現在算定中であり、今後公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

なお、「再生可能エネルギー」を対象とするファンドの進捗状況等につきましては、決算短信及び四半期決算短信等でご報告いたします。また、金額的に重要な案件の進捗状況等につきましては、適時に開示をしております。

以上